



2006年8月25日国連特別委員会で障害者権利条約案が採択され条約批准の道のりがはじまった

12月4日に障害者権利条約批准の国会承認がなされたことを受け、政府は条約の批准書を吉川元偉国連代表部大使を通じて、国連事務総長に寄託しました。  
条約発効から5年余り、拙速に条約を批准することを避け、国内法制の整備に力を注いだ結果、条約の基本理念を反映した形での障害者基本法の改正、障害者総合支援法や障害者差別解消法の制定がなされ、まさに満を持しての批准となりました。  
しかしながら、批准はゴールではなく、条約の完全実施にむけたスタートです。日本は、平成28年に国連に対して第1回目の条約実施措置状況等の報告が義務づけられており、障害者団体は確実に条約が実施

1月20日、政府は「障害者の権利に関する条約（障害者権利条約）」の批准書を国連に寄託し、日本はEUを含む141番目の締約国となりました。

# 日本が障害者権利条約を批准 141番目の締約国に

# 日身連

発行所  
社会福祉法人  
日本身体障害者団体連合会  
(中央障害者社会参加推進センター)  
発行人 嵐谷 安雄  
東京都豊島区目白3丁目4の3  
デアダックビル4階  
TEL 03-3565-3399(代)  
FAX 03-3565-3349  
http://www.nissinren.or.jp  
Japanese Federation of  
Organizations of the  
Disabled Persons (JFOD)  
年間購読料 正会員1部 300円  
非会員1部 1000円

今年5月に開催される第59回日本身体障害者福祉大会は、5月22日(木)から23日(金)までの2日間、島根県松江市において開催されます。  
1日目は一畑電鉄 松江しんじ湖温泉駅に程近く、目の前に宍道湖が一望できるホテル一畑において日身連評議員会・政策協議(講演、シンポジウム)が、2日目はくにびきメッセにおいて、大会式典と議事が開催されます。いずれの会場も、JR松江駅から約2キロ圏内というアクセスの良さや、昨年本殿の遷宮が行われた出雲大社をはじめ、松江城とその周辺の町並みなど、周辺観光も大変魅力ある大会となっております。  
溝口知事を表敬した嵐谷会長は、「全国から多くの会員が一堂に会するまたとない機会です。仲間との交流を楽しみに参加する会員も多い。障害者権利条約が批准された記念すべきこの時期に、意義ある大会となるよう県の協力をお願いしたい」と述べました。これに対し溝口知事は、「5月は気候も良いので、ぜひたくさんの方に御来会いただきたい」と歓迎する旨を述べ



溝口島根県知事を表敬する嵐谷日身連会長と福井島根県身連会長

られました。  
なお、しまね大会のプログラムについては、2面に詳細が掲載されています。

## 溝口島根県知事を表敬訪問 第59回しまね大会協力を申し入れ

1月29日、嵐谷安雄日身連会長が今年5月に開催される第59回日本身体障害者福祉大会(しまね大会)の成功を目指して、福井幸夫島根県身連会会長とともに、溝口善兵衛島根県知事を表敬訪問し、大会式典への臨席と、大会への協力について申し入れをおこないました。

されるよう国に働きかけていくとともに、国民の約8割が障害者権利条約を「知らない(※)」と答える状況についても、理解と周知に努めていくことが、今後の大きな課題と言えます。

なお、障害者権利条約については、次号で特集を行う予定です。

※「障害者に関する世論調査」(平成24年7月)